

上野清 のりひ 数學者、教育家、漢詩人。嘉永七年閏七月十一日江戸生れ、大正十二年六月二十七日歿（一八五〇—一九二四）。號閑雲。明治二年昌平學校入學、翌年東京小學校第四校漢文教員、五年私塾開設、八年華族會館數學教師拜命、十年東京數學會社に参加し、十二年機關誌『數理叢談』を『上野塾』より發刊、翌年數學擴張會發會會長となる。數學の譯著多數の他に一般論點にも筆を執り、その漢詩を能くして、『閑雲集』（大正二年刊）一卷を遺した。

著書に『世界の大變』（明治二十四年六月十七日吉川半七刊）。『進想上野清先生一生活・閑雲集』（上野塾校史編纂委員会編、昭和五十八年五月六日上野塾）がある。

